

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	環境振動設計指針策定小委員会	
主査名	濱本 卓司	
就任年月	2017 年 4 月	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境振動運営委員会)	委員長名：岩田利枝 主査名：国松 直
設置期間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>現在改定作業が進んでいる「建築物の振動に関する居住性能評価指針」を設計実務において利活用するための手引きとしての「環境振動設計指針」を策定する。</p> <p>・2017 年度：①歩行振動，②交通振動，③風振動に関して個別に環境振動設計法を検討する。</p> <p>・2018 年度：「環境振動設計指針」の第 1 稿を作成する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：濱本卓司(東京都市大学)</p> <p>幹事：上明戸 昇(建設環境研究所)，国松 直(産業技術総合研究所)</p> <p>委員：石川孝重(日本女子大学)，井上勝夫(日本大学)，佐伯兼久(ヤクモ)，鈴木雅靖(鹿島建設)，高野真一郎(大林組)，原田浩之(三井住友建設)，松本泰尚(埼玉大学)，横山裕(東京工業大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	環境振動設計指針策定検討 WG：「環境振動設計指針」策定のための具体的作業	
2017 年度予算	5,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有 (運営委員会 HP の一部)</p> <p>委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s17/AIJ_EVindex.html</p>

項目	自己評価
委員会開催数	小委員会：1 回，WG：6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	・第 36 回環境振動シンポジウム「居住性能の性能ランクと設計フロー – 評価 規準と設計指針概要」，2018 年 1 月 23 日 13:30～17:30 開催，参加者数***名
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. WG を年 6 回開催し，振動源ごとの具体的な設計法について議論した。</p> <p>2. 設計のための振動計測について，WG メンバーを増員し検討した。</p> <p>3. 環境振動シンポジウムにおいて，小委員会・WG の成果を報告した。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	なし

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2017 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年 6 回の WG を開催し、具体的な設計法（設計フロー）について議論した。 2. 振動源に捉われない環境振動設計の大枠についてコンセンサスを図った。 3. 設計のための振動計測について取り纏めるために WG メンバーを増員した。また、実際に計測を行い、計測例を作成した。 4. 居住性能評価指針改定小委員会（性能評価法検討 WG）との連携を強化し、設計者からの要望が「環境振動評価規準」に反映されるように働きかけた。 5. 音響技術（日本音響技術協会発刊）への投稿を通じ、性能マトリクス・設計フローのブラッシュアップを図った。 6. 環境振動シンポジウムにおいて「環境振動設計指針」策定に向けた進捗状況を報告し、会員からの意見や要望を収集した。 			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。